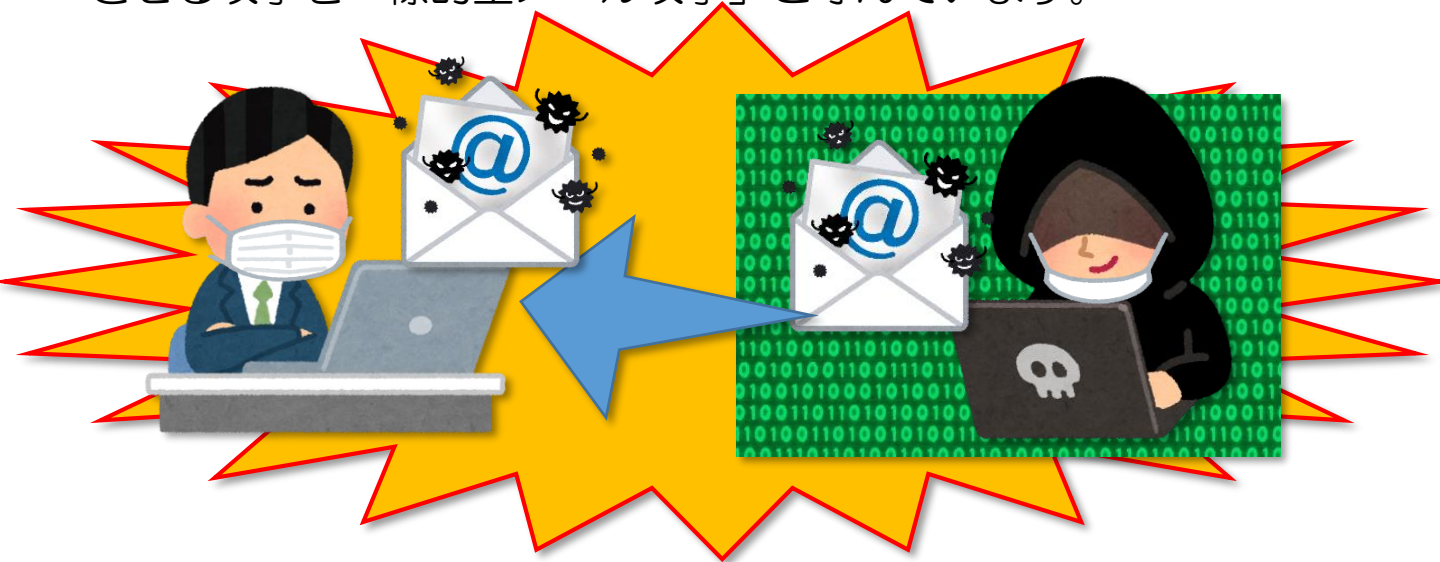


標的型メール攻撃の脅威 添付ファイルやリンクに要注意！

標的型メール攻撃とは…

警察では、業務に関連した正当な電子メールを装い、市販のウイルス対策ソフトでは検知できない不正プログラムを添付した電子メール（標的型メール）を送信し、受信者を不正プログラムに感染させる攻撃を「標的型メール攻撃」と呼んでいます。



業務に関連した正当な電子メールを装い、添付ファイルやリンクを開くよう誘導する不審なメールが確認されています。

こうした手口で不正プログラムに感染すれば、

- サーバ等に保管されているデータが流出
- コンピュータが乗っ取られ、他の事業者等に対する攻撃の「踏み台」として利用される

可能性があります！

ポイント

標的型メールの注意点

- 添付ファイルやリンクを『安易に開かない！』
- 添付ファイルの『マクロ機能を安易に有効化しない！』
- ソフトウェア（OSやウイルス対策ソフト）は『最新のバージョンに更新しておく！』

重要!

島根県警察本部